

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【公開番号】特開2009-247464(P2009-247464A)

【公開日】平成21年10月29日(2009.10.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-043

【出願番号】特願2008-96667(P2008-96667)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月18日(2011.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が打ち込まれる遊技領域が前面に形成された遊技板と、  
前記遊技領域内に配置され遊技媒体が入賞可能な始動口と、  
該始動口に遊技媒体が入球したことを検出する入球状態検出手段と、  
該入球状態検出手段による前記遊技媒体の検出に基づいて抽選を行う抽選手段と、  
前記抽選手段による抽選結果に基づき、通常遊技状態よりも遊技者に有利となる有利遊  
技状態を発生させる有利遊技状態発生手段と、

前記遊技板の略中央部に開口される開口部に取着され、遊技媒体が流下可能な遊技領域  
を区画形成する枠状部材と、

前記遊技板の後方に配置され、前記枠状部材の開口を介して表示領域に表示される所定  
の演出画像が視認可能な演出表示装置と、

前記枠状部材の後方で且つ前記表示領域の周辺前方に設けられる可動装飾体と、

前記通常遊技状態にあるとき、遊技者が視認可能な所定の演出画像を前記可動装飾体に  
による隠蔽によって追い込むべく前記可動装飾体を前記表示領域の一部を覆う障蔽位置に滞  
在させる圧迫状態演出手段と、

前記有利遊技状態にあるとき、遊技者が視認可能な所定の演出画像を前記可動装飾体に  
による隠蔽から解き放たれた略全域へと開放するべく前記可動装飾体を前記表示領域の前方  
から退避する退避位置に滞在させる開放状態演出手段と、を備えることを特徴とする遊技  
機。

【請求項2】

前記可動装飾体は、奥行き方向において厚みのある立体形状の部材からなることを特徴  
とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記圧迫状態演出手段は、前記障蔽位置として前記枠状部材の開口よりも内側に前記可  
動装飾体が遊技者に視認可能となる位置に滞在させる一方、

前記開放状態演出手段は、前記退避位置として前記枠状部材の開口と略同等若しくはそ  
れよりも外側に前記可動装飾体が退避する位置に滞在することを特徴とする請求項1ま  
たは請求項2に記載の遊技機。